

## 『インターネットと教育』研究協議会

### 【目的】

インターネットと教育に関する、現場の 教員を中心とした実践的な研究への蓄積を全国的に普及させると同時に、各地域の活動の連携を図り、社会の各分野の人と協力しつつ、さらにその成果を発展拡大することを目指します。

今まで全国で活動してきた教員を中心に構成されています。昨年度、千葉大で行われた同名のフォーラムが母体となり、現在はMLでの準備活動を進めているが今秋下記要領でフォーラムを大阪で開催予定であり、参加者を募る。

### 【秋のフォーラム】

2001年には日本全国の学校のインターネットへの接続が計画され、それに続いて実施される新しい学習指導要領では「情報」というキーワードが学習内容や方法に深くかかわろうとしています。

しかし、全国の学校に及ぶ、あまりにも急速な環境変化が、1部では混乱や不安といった問題を引き起こしていることも事実です。'99『インターネットと教育』フォーラムでは、大会テーマに「情報教育の新展開 ～インターネットと情報倫理～」を掲げ、特に、インターネット利用の「影の部分」といわれる諸問題、例えば、セキュリティ、モラル、プライバシー、詐欺や悪質な情報への対処を考える「情報倫理」について、専門家の講演や、具体的な教育実践の紹介を通じて、積極的に検討します。

また、今後、学校で課題となるテーマを問題提起し、参加者のみなさんをまじえて、大いに語り合いたいと考えています。

### 【現在の組織】 (平成11年8月)

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 発起人会                        | 7名  |
| 『インターネットと教育』研究協議会 設立準備委員会   | 43名 |
| 1999『インターネットと教育』フォーラム 実行委員会 | 22名 |
| 世話人会【情報倫理教育と情報教育研究会】        | 81名 |
| 「ネチケット・情報倫理教育・ガイドライン部会」     |     |
| 「メディア活用部会」                  |     |
| 「技術検証部会」                    |     |
| 「初心者・教員研修部会」                |     |

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 代表者名 | 越桐國雄大阪教育大学 教授           |
| 副代表者 | 石原一彦滋賀県大津市立 瀬田小学校 教諭    |
|      | 芳賀高洋千葉大学教育学部附属中学校 非常勤講師 |

### 【今後の展開】

- 1) 情報教育を実践してきた先進的な教員らの成果を集約し、今後、インターネット接続する学校がスムーズに運用できるような支援体制を構築する。
- 2) 現場の情報教育に関わる教員や有識者の大規模なコミュニティを形成する。
- 3) 教育のコンテンツや技術環境などの情報交換を促進し、教育の情報化を支援する。
- 4) 各地域の研究会や教育ネットワークの連携を支援する。